

知（地）のソーシャルキャピタル 学びの山梨モデル



私たち山梨大学と山梨県立大学では
高校生から社会人までの世代を超えたコミュニティ
「知（地）のソーシャルキャピタル」を築き

地元定着率の向上と地域発イノベーションの創出を目指しています

01 知(地)のソーシャルキャピタル「学びの山梨モデル」とは

地域と大学が一体となり、分野横断的に課題解決に挑む地域人材の育成を目指し教育改革を行い、在学生、高校生、社会人に対して一貫した学びを提供すること(垂直統合型人材支援体制)で、山梨で学ぶことの意義を知り、誰もが学びを通じて自身・地域の“停滞から成長”を実感することができる仕組みのことです。

02 主な取組み

フューチャーEVO

企業・社会人 大学生 高校生

大学を核として地域が連帯する体制の確立を目指し、地域の小中学生、高校生、大学生、社会人が一堂に会して活動発表するイベントです。

世代を超えた交流により、新たなアイデアや共創が生まれ、山梨のさらなる地域発展を目指します。

※主な活動発表

- ・大学生と県内企業・団体が協働で実施する「Miraiプロジェクト」
- ・高校生の「探究活動」
- ・小中学生が取り組む「やまなしジュニアドクター育成自然塾」など

地域人材養成センターHP（活動報告）：
<https://hr.yamanashi.ac.jp/report/jinzai-r/3405/>



BeReal Meeting

企業・社会人 大学生

企業数社と学生による小規模で気軽な交流会です。

小規模ならではのフランクな交流を通じて、企業・団体の皆さまは学生の仕事に対する価値観や本音を、学生は企業で働く「人」の魅力や多様な働き方を知る機会としています。

地域人材養成センターHP（活動報告）：
<https://hr.yamanashi.ac.jp/report/chiiki-r/3487/>



Mashup meeting

企業・社会人

大学生

高校生

一般社団法人Mt.Fujiイノベーションエンジンと協働し、学びを通して社会とつながるイベントです。

環境の変化がめまぐるしく加速する時代で、社会がどうなれば人や地域が豊かになるのか、大学教員や各業界で活躍する方からお話を聞き・学び、高校生から社会人が画一的ではない未来のビジョンを考えます。



ハンドブック「PEER」

企業・社会人

大学生

高校生

大学と地域の連携・共創をテーマに、地域教育・地域活動等の取組みや協賛企業を紹介するハンドブックを作成しています。主に山梨県内高校や大学生を対象に配布するとともに、WEBサイトにもデータ版を掲載し情報発信します。

※令和7年度はミニコミ誌「PEERLESS」も年内に発行予定です。



2024年2月発行



2025年2月発行

その他にも「探究活動相談会」「大学教員と高校教諭の交流会」「やまなしジュニアドクター育成自然塾」「女性活躍推進事業」「リスクリング事業」などを通して、山梨県の幅広い学びを支えています。



03 5つの教育プログラム

先行きの見えない時代に対応した人材を育成するため、5つの教育プログラムを設計し、文系理系の枠を超えた「探究中心」の学びを提供します。

山梨大学

工学部

工学の社会実践プログラム



工学技術を用いた社会的課題解決へ

生命環境学部（環境科学科）

環境科学の社会実践プログラム



自然と社会の価値を再発見する

生命環境学部（地域社会システム学科）

地域課題解決実践プログラム



価値創造の担い手を育成する

山梨県立大学

国際政策学部

創発デザインコース



地域未来を創る文理融合の人材

人間福祉学部・看護学部

ヒューマンサービスイノベーションコース



DX推進による看護・福祉等分野のイノベーション人材

>>> 詳細はホームページを検索！

学びの山梨モデル

